

環境ベテランズファーム Webセミナー (2023年8月)

講演テーマ: ウクライナ戦争と歴史の転換点

講師: 元ウクライナ駐在特命全権大使 あまえ きしちろう 天江 喜七郎 様

講師略歴:

- 1943年 仙台市県生まれ 一橋大学卒
- 1967年 外務省入省 在ソ連日本大使館勤務、冷戦時代及びソ連崩壊時のモスクワを経験
- 在外ではイラン、英国、韓国、ソ連/ロシア、米国(ホノルル総領事)、シ及びリア(大使)、ウクライナ/モルドバ(大使)
- 国内では、北米局(沖縄返還)、調査部、欧亜局(ソ連関係)、国連局(課長)、情報文化局(審議官)、中近東アフリカ局(局長)、関西担当大使(大阪)
- 2007年退官後は、同志社大学客員教授、国立京都国際会館館長、KDDI社外監査役等を歴任
- 現在、茶道裏千家淡交会顧問、日本国連協会評議員、合気会理事、京都日韓親善協会会長、ウクライナハウスジャパン共同代表ほか

EVF Hybrid セミナー 2023年8月25日

ウクライナ戦争と歴史の転換点

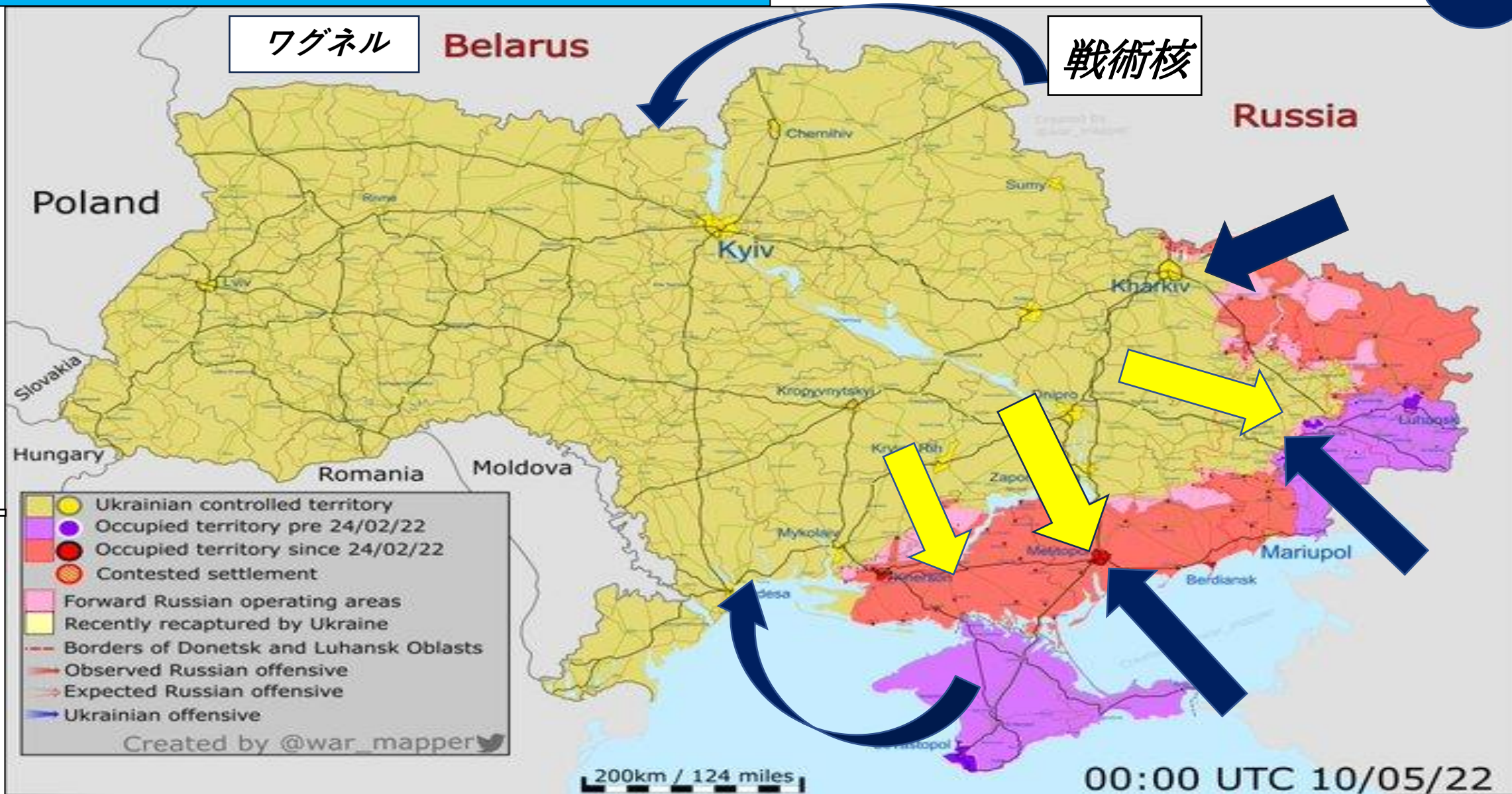
元在ウクライナ特命全権大使 天江喜七郎

【ポイント】

- ウクライナ戦争の本質、今後の見通し
- ウクライナ戦争で世界はどう変わったか
- 日本の安全保障と外交はどうあるべきか

戦争の現状と今後

1



ウクライナとはどんな国か？

2



面積 約60万 km²

日本の1.6倍、95%が平野

人口 4160万人

世界有数の穀物生産輸出国
東部は鉱工業地帯

露と中欧を結ぶ要衝の地

ウクライナ人 77.8%

ロシア系 17.3%

重工業



観光



農業



ロシア軍のウクライナ侵攻 22/2/24

4

明白な国連憲章違反・総会非難決議

被害 * 両軍死傷者 各10万人~20万人

民間人死者 4万人以上

内外避難民総数:1,500万人以上

国外避難民 780万人 (UNHCR)

日本への避難民 約2,300



ウクライナ戦争の本質

5

◎「ロシアにとっては大ロシア復興戦争」

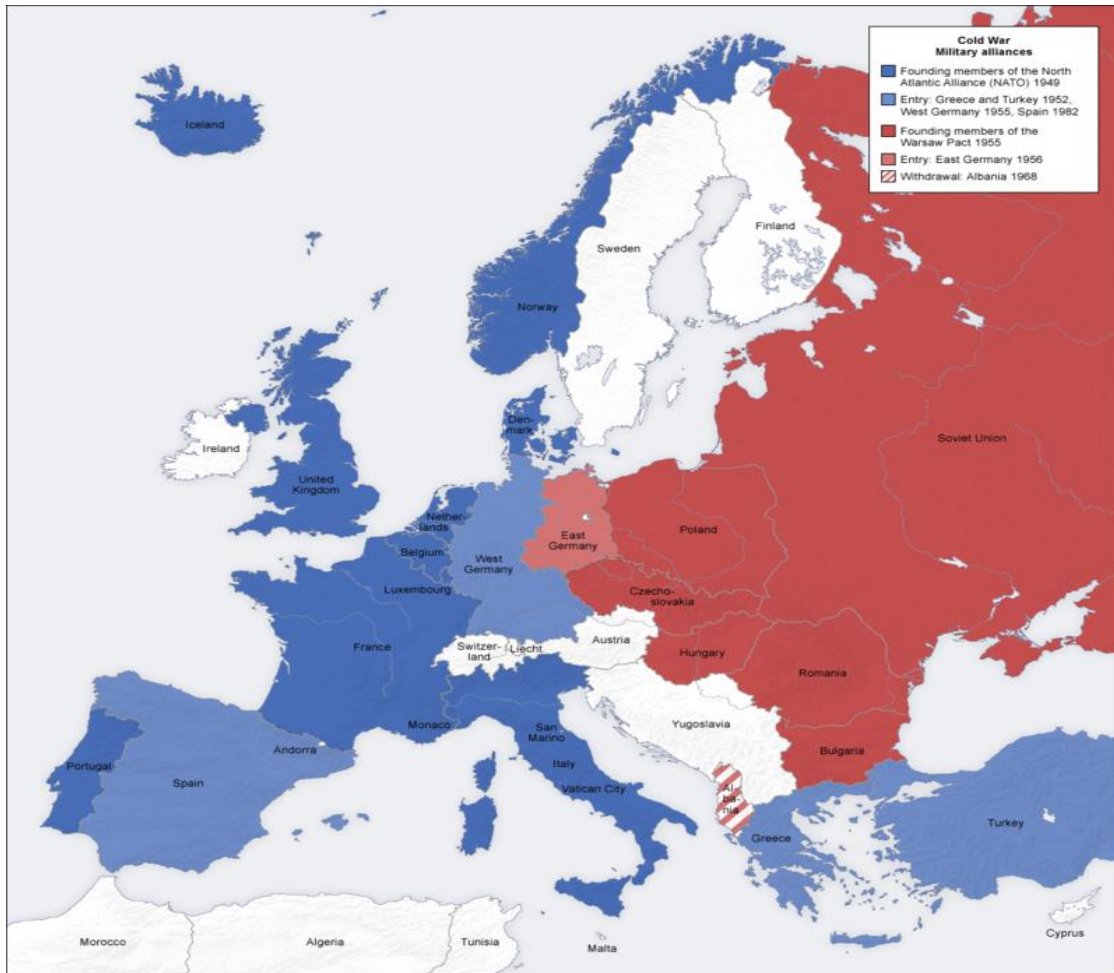
- *プーチン大統領:「ウクライナは歴史的にロシアの一部」。
- *ロシア帝国=ロシア+白ロシア+小ロシア(ウクライナ)。
- *NATOの東進を防ぐためには露帝国/ソ連時代に戻る必要との考え。

◎「ウクライナにとってはロシアからの独立戦争」

- *ソ連崩壊により史上初めて「ウクライナ」が独立。しかし実体はロシア依存。
- *ゼレンスキー大統領:「我々はロシアの脅威からヨーロッパを守るために戦っている」⇒ロシアと決別し、ヨーロッパの一員を指向。
- *他方、EU/NATOへの加盟を目指すも実現せず。

NATOの東方拡大

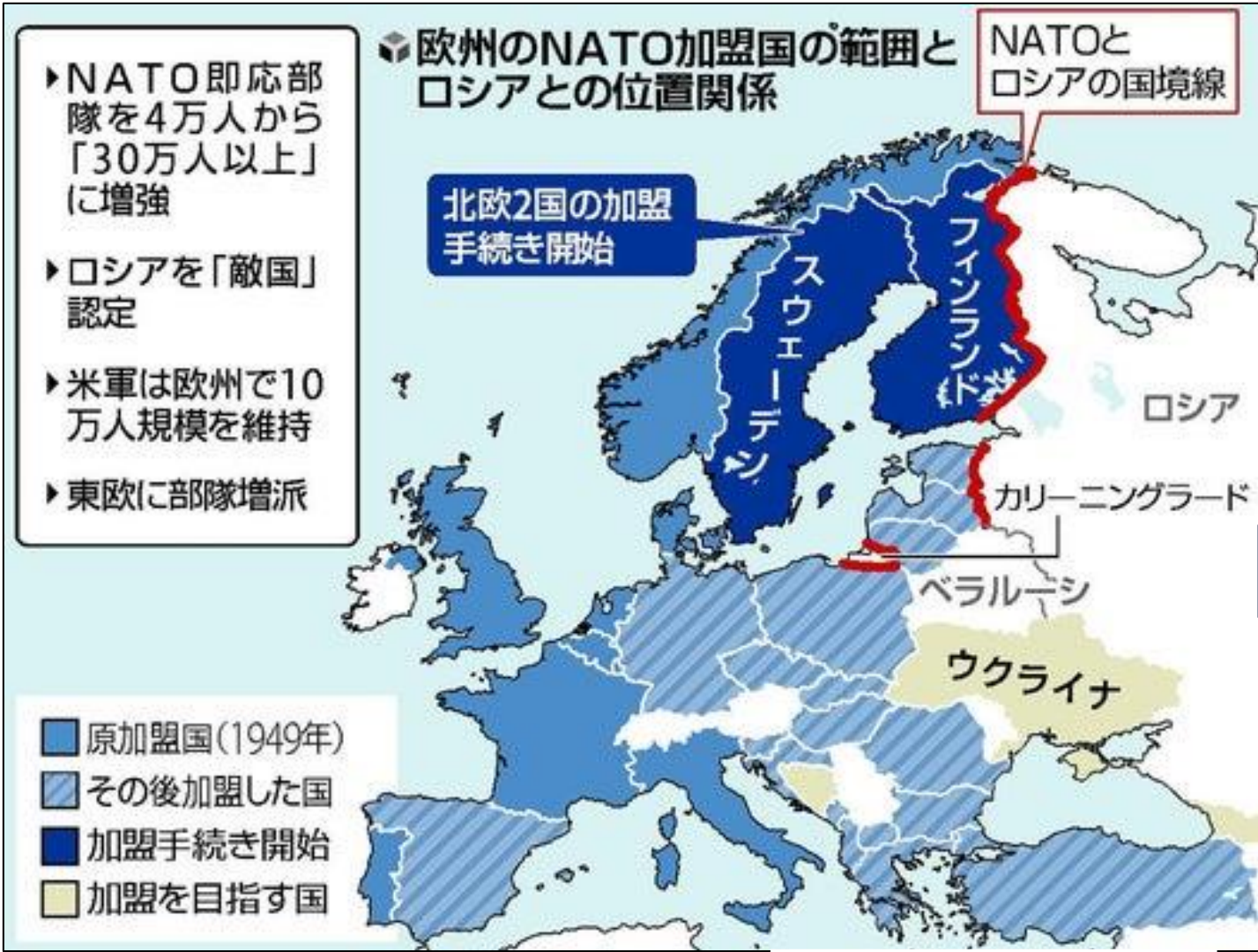
6



1985 冷戦終結時



2022年現在 30か国



(読売新聞より)

- ▶ NATO即応部隊を4万人から「30万人以上」に増強
- ▶ ロシアを「敵国」認定
- ▶ 米軍は欧州で10万人規模を維持
- ▶ 東欧に部隊増派

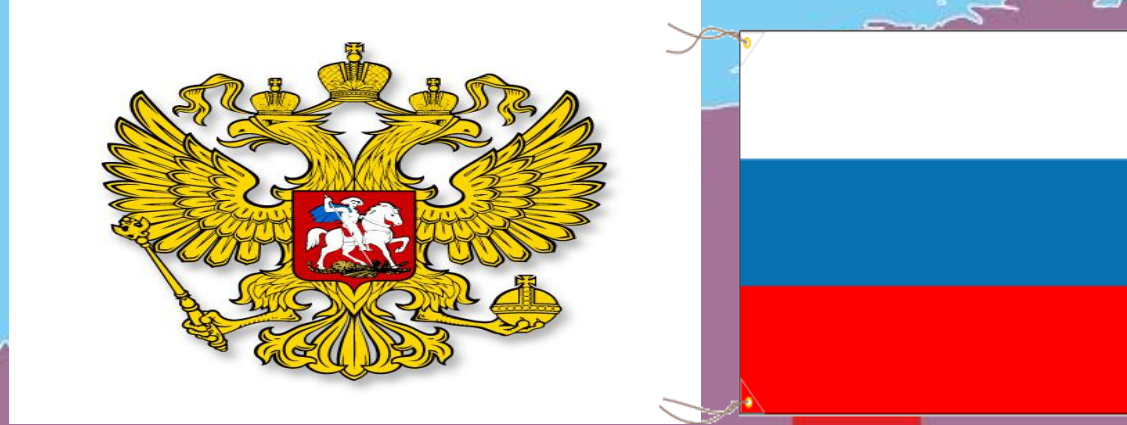
北欧のNATO加盟のインパクト

↓

バルト海=NATO海
⇒露海軍に大打撃
⇒カーニングラードと北方艦隊を重視
⇒ベラルーシ核配備
⇒バルト三国への軍事圧力
⇒ウクライナ NATO加盟に絶対反対

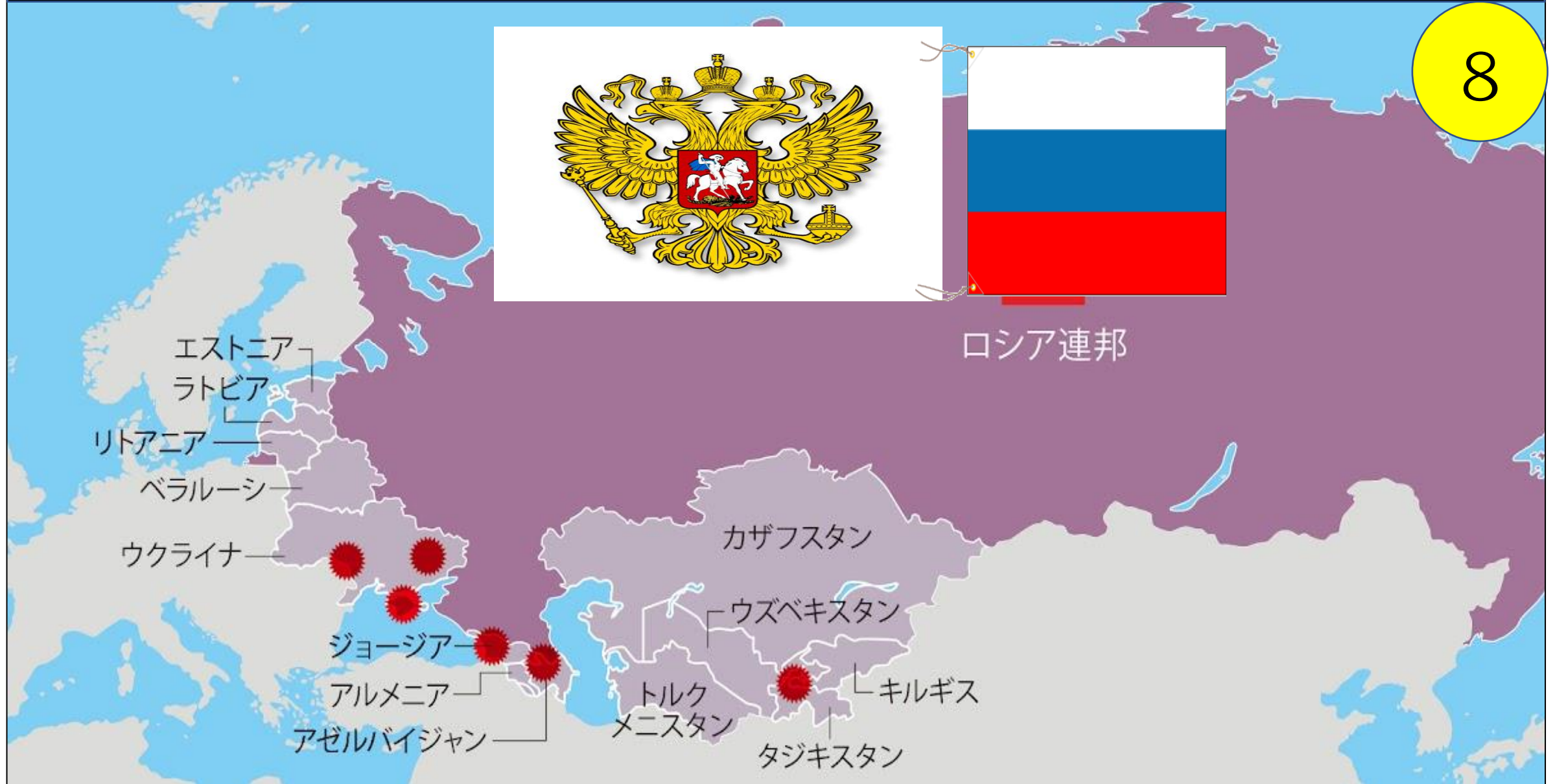
2023年4月フィンランド加盟。同7月、スウェーデン加盟にトルコ同意⇒32か国へ。

プーチン:ソ連崩壊は20世紀最大の地政学的カタストロフィー



ロシア連邦

8



現 ロシア連邦 (共和国、州等 83の構成主体)



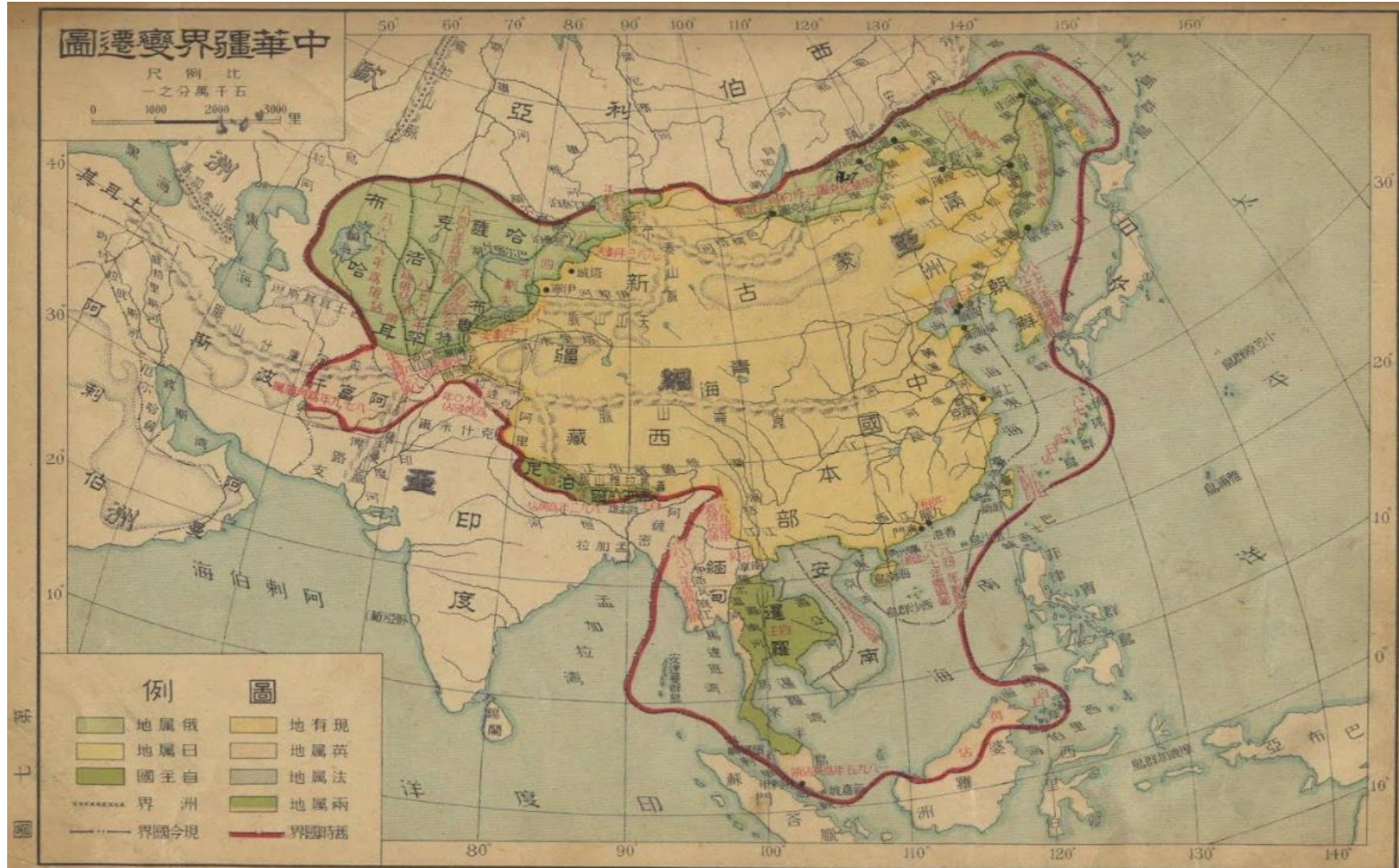
”ポストロシア”地図



中国の夢 = 失地回復

10

国恥地図 (1933年製)



現在の国土の2倍

- * 露 = 東部シベリア、沿海州、サハリン
- * 日本 = 沖縄、琉球諸島
- * インドシナ半島
- * ネパール、ブータン
- * アフガニスタン
- * 中央アジア
- * モンゴル

モンゴル帝国

「タタールのくびき」

1240:モンゴル軍により「ルーシ」滅亡
1480:モスクワ大公国の勝利



ロシア + 中国

人口16億人、面積2,660万km²

11



ウクライナ戦争の見通し

12

●長期戦/消耗戦⇒手詰まり感、ウ軍の反転攻勢は限定的？

* 継戦能力はロシアが優位、クリミアはロシアのメンツ、戦術核使用の恐れ

●停戦の動き：サウジでの和平協議（23年8月、40か国超参加、露欠席）

* 習近平・ゼレンスキー電話会談（23年4月）：ウ露が仲介を歓迎

●2024年が大きな転換点：米、ロシア、ウクライナでの大統領選挙の年

* 露：「制裁」で経済が減速、ルーブル価の大幅下落

* 米：選挙モードでウクライナ支援に影、機密漏洩事件で信用失墜

* ウ：ゼレンスキー再選も政権内部に亀裂？軍徴用責任者全員の更迭、汚職を払拭できるか？暗殺の危険性？

●ウクライナ問題⇒欧州最大の不安定要因、NATOと露の対立激化

ウクライナ戦争：歴史の転換点

13

◎グローバルイズムの終焉。

⇒「モノ、ヒト、カネ、サービス」の自由な流れが阻害。

⇒国際機関の機能不全。

⇒(超)大国の武力による秩序破壊。

◎国益第一主義による対立と不安定化時代の到来。

⇒軍事同盟のブロック化と軍拡競争。

⇒核保有と核使用への誘惑。

●中露(朝)「同盟」vs日米(韓)同盟:新冷戦

*米中対立⇒中国軍の台湾/尖閣侵攻+露の北海道侵攻?

●北朝鮮の核・ミサイルの実戦配備⇒最大の脅威

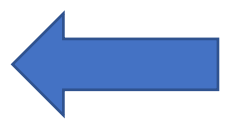
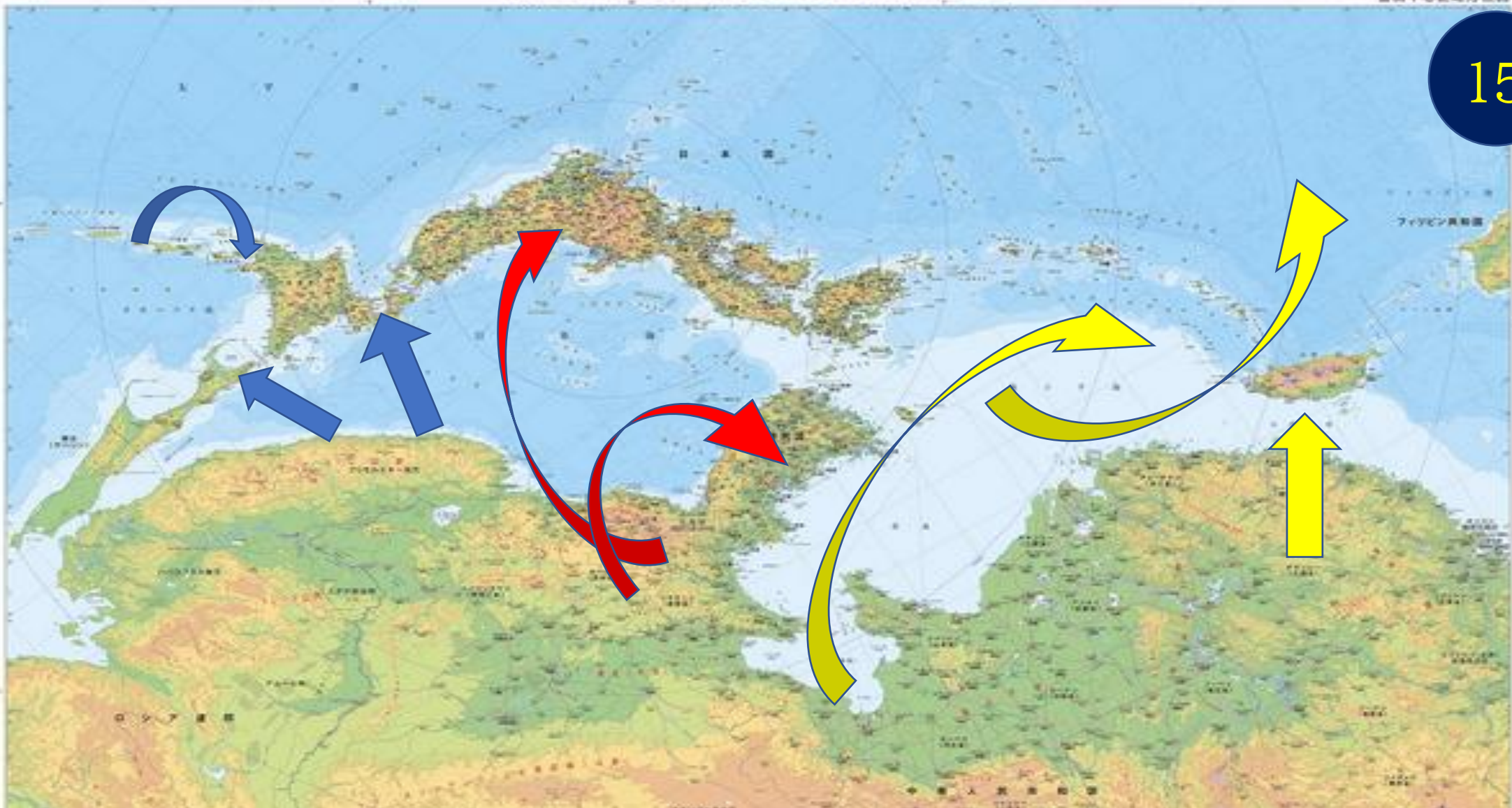
*「拡大抑止」、「敵基地攻撃」:従来の憲法解釈/非核政策に背馳

●日本:防衛費5年間で43兆円に大幅増額

★日本は中・露・北朝鮮のターゲット?

*日米韓、AUKUS+QUAD⇒NATO化?

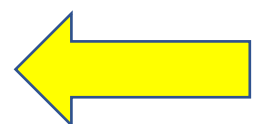
注:AUKUS(豪英米同盟)、QUAD(日米豪印戦略対話)



露



朝



中

外交による局面打開を

16

●日本の安全保障＝防衛力＋国民意識＋外交力

●ウクライナ戦争から何を学ぶか、その教訓とは？

*「相手国の善意のみで平和は保たれない」

*「専制国家は武力行使を躊躇しない」

⇒憲法前文/国連憲章前文へ現実的視野を。

●戦争を避けるには対話(外交)しかない

*敵対的相手とは頻繁に接触を試みるべし。

首脳外交、隠密外交、第三国経由外交、タイミングの見極め。

*「非合意の合意(Agree to Disagree)」から始める。

生命体としての地球の尊重を

17

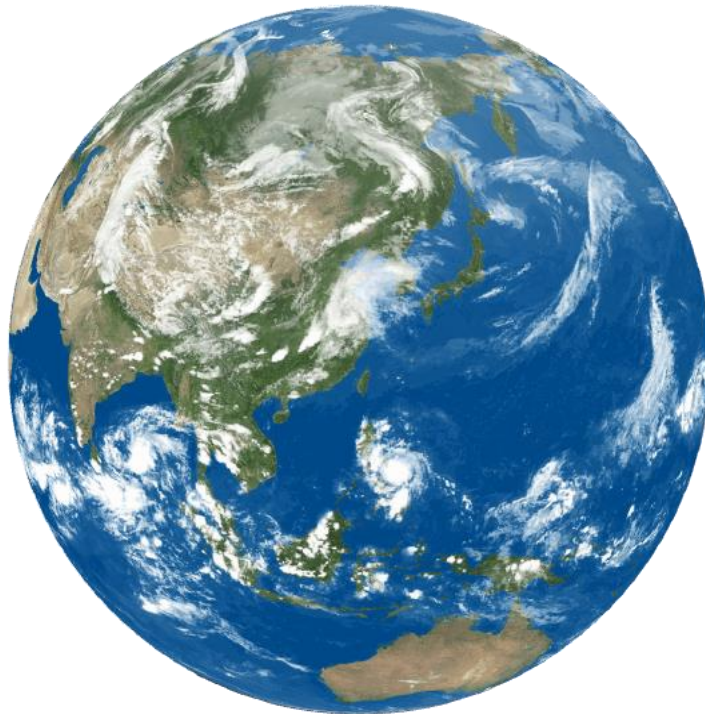
● 自然現象

≪ 温暖化による
異常気象 ≫

⇒ 永久凍土の氷解

- * 地震・津波
- * 干ばつ・不作
- * 豪雨・洪水
- * 猛暑・山火事
- * 疫病(コロナ)

地球は危機的状況



→ 経済活動の停滞 ←
人類の危機

● 人間の所作

- ≪ CO2 排出 ≫
- ≪ 戦争・内乱 ≫
- ≪ 社会の分断 ≫
- * 独裁者の出現
- * 核戦争の危機
- * エネルギー危機
- * 食糧危機
- * 金融危機

【講師プロフィール】

天江喜七郎 元在ウクライナ特命全権大使(2002-05)
ウクライナ ハウス ジャパン(UHJ)共同代表
元 外務省参与

- ・ 1943年仙台市生まれ
- ・ 1967年一橋大卒、外務省入省
- ・ 1967年英陸軍 語学学校にてロシア語研修、68年ロンドン大学、
69年モスクワ大学に留学
- ・ 外務本省では欧亜局ソ連課、国連政策課長、中近東アフリカ局長等
- ・ 在外ではイラン、英国、韓国、ソ連/ロシア(総括公使)、米国(ホノルル総領事)、
シリア(大使)、ウクライナ兼モルドバ(大使)を歴任

イラン革命(1978-79)、ソ連崩壊(1991-92)、ウクライナ オレンジ革命(2003-04)を現地で体験

(注)本資料での見解は外務省とは一切関係ありません。(画像はWikipediaを利用。)